

令和4年度第3回横浜市強度行動障害支援力向上研修【基礎研修】

(強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】)募集案内

横浜市強度行動障害支援力向上研修【基礎研修】は、強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】としても位置付けられた研修であり、次により実施します。

日 程： 令和4年10月20日(木) ～ 21日(金)
※オンライン事前練習会 10月11日(火)
定 員： 50名
実 施： オンライン(Zoom)
教材費等： 13,000円
募集期間： 令和4年8月22日(月) ～ 9月2日(金)※17時必着

【基礎研修】 今年度は今回募集の第3回が最終です。

【実践研修】 第1回を12月実施予定、10月募集予定です。

カリキュラム・申込方法など詳細については、下記「令和4年度横浜市強度行動障害支援力向上研修【基礎研修】(強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】)実施要領」をご覧ください。

.....

令和4年度 横浜市強度行動障害支援力向上研修【基礎研修】

(強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】)実施要領

1 目的

行動障害を有する者のうち、いわゆる「強度行動障害」を有する者は、自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどにより、日常生活に困難が生じているため、現状では事業所での受入れが消極的であったり、身体拘束や行動制限などの虐待につながったりする可能性も懸念されるところです。

一方、障害特性の理解に基づく適切な支援を行うことにより、強度行動障害が低減し、安定した日常生活を送ることができることが知られています。

このため、強度行動障害のある方の地域移行及び地域生活に向けた取組として、強度行動障害に係る支援手法の浸透や、適切な支援を行う職員の人材育成を目的とした横浜市強度行動障害支援力向上研修(強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】)を実施します。

なお、本件研修は神奈川県より「強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)」として指定を受けた研修となっています。

2 日程・研修カリキュラム等

研修日程： 令和4年10月20日(木)～ 21日(金)

オンライン事前練習会： 10月11日(火) 10:30～11:30

10月11日(火) 13:30～14:30

10月11日(火) 17:30～18:30

※事前練習会はいずれかの時間帯で1回ご参加ください

研修カリキュラムについては別紙「横浜市強度行動障害支援力向上研修【基礎研修】カリキュラム」参照

3 実施形態

オンライン(Zoom)を使用して行います。研修をスムーズに行うために、事前練習会(いずれか希望の時間帯)に参加いただくことが必須となります。

オンライン研修のため参加にあたっては、研修参加状況の確認や演習(グループワーク)がありますので、カメラ付きPCでご参加ください。Chromebookは推奨しません。タブレット、スマートフォンでの参加は認められません。また、Wi-Fi環境での接続を推奨しておりますが、安定して接続できる環境については、ご自身で事前にご確認ください。研修中は動画の視聴もありますのでインターネットに快適に接続できる環境での参加をお願いします。事前練習会には研修当日と同じPC・環境でご参加ください。変更された場合は、研修当日不具合があった際に事務局では対応できませんのでご了承ください。

4 定員

50名程度

5 受講対象者

次の(1)から(3)の要件を全て満たす者

- (1)横浜市内の障害福祉サービス事業所等において、知的障害、精神障害のある児者を支援対象にした事業に従事する者、もしくは今後従事する予定のある者、又は一次相談支援機関・二次相談支援機関に従事する者
- (2)2日間全ての日程を受講できる者
- (3)所属している法人の推薦を受けた者

6 受講者の推薦・申込み

(1)申込み方法 次の【1】【2】をすべて整えてください。

【1】受講申込フォーム

- ・法人の取りまとめ担当者が入力してください。
- ・インターネット上の受講申込フォームからの申込みとなります。

- ・申込多数になることが予想されるため、1法人5名(1事業所2名)までの申込みとさせていただきます。
- ・受講希望者1人につき1送信です。

- ・下記URLより、必要事項をご入力の上お申込みください。

URL・・・ <https://forms.gle/Xvxwedr6UXKeYvQB7>

【2】受講推薦書について

- ・別紙「横浜市強度行動障害支援力向上研修(強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】)受講推薦書」に受講希望者全員の氏名・優先順位等の必要事項を記載、押印の上、返信用レターパックを同封し郵送してください。
- ・申込多数になることが予想されるため、1法人5名(1事業所2名)までの申込とさせていただきます。
- ・受講推薦書の法人内優先順位は必ず記載ください。法人内優先順位が未記載の場合や不適切な記載の場合(法人内優先順位1位が複数いる等)については、受講を見送りとさせていただきます。

※申込締め切り後は一切受け付けませんので、ご注意ください。

(2) 申込様式 別紙様式

ウェブサイト「障害福祉情報サービスかながわ(URL: <http://www.rakuraku.or.jp/shienhi/>)」の「書式ライブラリ」→「2. 横浜市からのお知らせ」→「8 研修・説明会等【横浜市】」に掲載します。

(3) 返信用レターパックの同封(受講決定等の通知に使用)

- ・レターパックライト(青色 370 円)
- ・法人代表者宛てに宛名を記入してください。(宛名は〇〇御中又は〇〇様としてください。)
- ・宛先以外は事務局で記入しますので、何も記入しないでください。

(4) 申込期限 令和4年8月22日(月) ～ 令和4年9月2日(金) 17時(必着)

(5) 推薦書送付先

〒231-0047

横浜市中区羽衣町2-4-4 エバース第8関内ビル5F

横浜市発達障害者支援センター 研修担当

※お手数ですが、封筒表面余白に「横浜市強度行動障害支援力向上研修申込書在中」と記載願います。

7 受講者の決定

- 定員を上回った場合は、推薦された方の中から、法人内優先順位等を勘案し、申込の内容を

審査した上で決定します。(先着順ではありません。)

- 「行動援護従業者養成研修」及び「重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程」を修了していない方を優先して選考対象とします。
- 強度行動障害を有する方の支援に関する相談業務に従事している一次相談支援機関・二次相談支援機関の方も優先して選考対象とします。
- 行動援護業務に従事している方や従事しようとする方は、「行動援護従業者養成研修」の受講をご検討ください。
- 強度行動障害を有する方の適切な支援計画を作成できる職員を養成するための研修ですので、実務経験も考慮のうえ選考します。
- 受講決定については、9月中旬頃までに各法人あてに通知をまとめて送付します。

8 修了証書の交付、修了者名簿の管理

- 本研修の全日程(2日間)を修了した方に、強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】修了証書を交付します。
- 本研修の修了者は、強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】の修了者名簿(修了証書番号、氏名、生年月日、所属等)として神奈川県に報告します。

9 受講料及び資料代

- 受講料は無料です。ただし、受講に必要な教材費等 13,000円は、受講者負担とします。(支払方法等詳細は、受講決定通知とともにご案内します。)
- テキスト:『強度行動障害のある人の「暮らし」を支える 強度行動障害支援者養成研修[基礎研修・実践研修]テキスト』(中央法規出版)を別途ご購入してください。
オンライン(Zoom)通信費、その他についても、受講者負担とします。

10 新型コロナウイルス感染症対策について

- 本研修は、演習を通じて習得することが多い内容となっており、感染症対策のためオンライン(Zoom)で実施します。
- 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、研修開催途中であっても、延期・中止する場合がございます。開催延期となった場合は、代替日程を調整のうえ、改めて全受講者へご連絡いたします。ただし、代替日程確保が困難と判断した場合は、中止といたします。

11 その他

- オンラインへの入室の遅刻及び早退は欠席とみなします。修了証書を交付できませんので、ご注意ください。余裕を持って入室をしてください。
- 著しく受講態度が悪く(居眠り、携帯電話の使用等)、繰り返し注意された方には修了証書を交付できませんので、ご注意ください。
- オンライン研修のため事前練習会(いずれか1回)にご参加ください。

12 研修に関する問合せ先

(本研修の申込手続き・実施等に関する問合せ先)

社会福祉法人横浜やまびこの里 横浜市発達障害者支援センター
〒231-0047 横浜市中区羽衣町2-4-4 エパーズ第8関内ビル5F
電 話 045(334)7320
ファクシミリ 045(334)8619
研修事務局 桜井・最上

(本研修に関する問合せ先)

横浜市健康福祉局障害施策推進課
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 15F
電 話 045(671)4133
ファクシミリ 045(671)3566
担当 田辺・森山

横浜市強度行動障害支援力向上研修(強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】)カリキュラム

科目名		時間	内容	
Ⅰ 講義		7H		
	1. 強度行動障害がある者の基本的理解	0.5H	①強度行動障害の理解	支援の基本的考え方
				強度行動障害の状態
				行動障害が起きる理由
		1H		障害特性の理解
	2. 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	1H	②研修の意義	行動障害と虐待防止
		0.5H		家族の気持ち
		1.5H	③支援のアイデア	障害特性にもとづいた支援
		1H	④チームプレイの基本	チームプレイの必要性
		1H	⑤実践報告	児童期及び成人期における支援の実際
	3. その他	0.5H	横浜市の取り組み	
Ⅱ 演習		5.5H		
	1. 基本的な情報収集と記録等の共有	1H	①基本的な情報収集	行動を見る視点
	2. 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	1H	②チームプレイの基本	支援手順書にもとづく支援の体験
		2H	③強度行動障害の理解	困っている事の体験
	3. 行動障害の背景にある特性の理解	1.5H	④特性の分析	特性の把握と適切な対応
合計		12.5H		